



らぶっく
La・Book

2月号
No.152

「豊科図書館」の書籍の特色…ご存じですか？

豊科図書館は、地域にちなんで『美術・映画・山岳・医療・野鳥・スポーツ』に関する6つの分野の書籍収集に力を入れています。

一つ目の『美術』は、隣に併設されている豊科近代美術館から寄贈された多くの書籍、図録等を所蔵しています。二つ目の『映画』は、安曇野市名誉市民の熊井啓(映画監督)のコーナーを設置しています。三階には「熊井啓記念館」があることから、映画関係の書籍収集を心がけています。三つ目の『山岳』は、安曇野市名誉市民の田淵行男(山岳写真家)と親交があった、故浅井千策氏から寄贈された山岳関係図書を「山岳コーナー」として設置しています。また、田淵の写真集等の著作を集めたコーナーもあります。四つ目の『医療』は、2024年3月から、国立がん研究センターより‘がん情報ギフト’の寄贈を受け、‘がん’に特化したコーナーを設置して、がん情報の提供に努めています。五つ目の『野鳥』は、白鳥が飛来してくる白鳥湖が、六つ目の『スポーツ』は、安曇野市総合体育館(ANC アリーナ)が、いずれも豊科地域にあることに由来しています。共に特設コーナーの設置はありませんが関係書籍をたくさん集めています。

豊科図書館では、引き続きこれらの特色を大切にしてご利用をいただける書籍の収集に努めて参ります。今後とも皆様のご来館を心よりお待ちしております。

館内の特設コーナー
左から美術、山岳、医療です



安曇野市図書館3月のイベント予定

☆おはなし会☆

開催図書館	おはなし会名(対象)	開催日/時間等
中央	おはなしのとびら(乳幼児以上)	5.12.19.26日/10:30~
	おはなしとしょかん(幼児以上)	15日(土)/10:30~
豊科	おはなしたんぽぽ(乳幼児以上)	14日(金)/11:00~
三郷	ポケットの会(乳幼児以上)	8日(土)/10:30~
	おはなし会(乳幼児以上)	27日(木)/11:00~
堀金	おはなしのへや(乳幼児以上)	18日(火)/10:30~
	おりがみのへや(幼児以上)	26日(水)/16:30~
明科	おはなしひまわり(乳幼児以上)	22日(土)/11:00~

◆講座など◆

会場・お問合せ先	講座名	開催日時等
中央図書館 (みらい)	春のこども映画上映会 午前部 「レオ・レオニ 5つの名作集」約28分 「楽しいムーミン一家」約25分 午後部 「映画 ざんねんないきもの辞典」約91分	3/1(土) 午前部 開演 10:30(開場 10:00) 午後部 開演 14:00(開場 13:30)
	大人のための絵本講座 ～絵本の楽しみ～ 講師:生田恵津子さん(松本短期大学教授)	3/6(木) 14:00~15:30 対象:一般(無料) 申込:15人(2/24~受付)

ご案内

ただ今、安曇野市・塩尻市・松本市の3市立図書館連携による企画展示を開催しています。
展示の内容は、各市の‘ご当地じまん’です!
2/1(土)~2/27(木)の間、安曇野市5図書館、塩尻市立図書館本館、松本市中央図書館において、それぞれの館が工夫を凝らして展示していますので、是非お出掛けください。

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書 『生きもの「なんで？」行動ノート』
きのしたちひろ/絵・文 SBクリエイティブ

表紙
「鳥の涙は〇〇の味?」「勝ち負けを引きずるアメリカザリガニ?」海洋動物の研究者である著者が鳥類、魚類、ほ乳類など様々な動物たちが生きていく中で見せる謎行動や生態を明らかにします。豊富なカラーイラストで個性豊かな生き物がたくさん出てくるので親子で楽しむことができます。どのページを読んでもそんな意味があったの!?...と驚いたり、ワクワクしたり。生き物の不思議を身近で感じてみませんか?

児童書 『すごいぜほんのちからって! モーリスのおうちはライブラリー』
ディディエ・レヴィ/文 ロレンツォ・サンジョ/絵
(株)イマジネーション・プラス

表紙
ネコのモーリスは、ネズミをつかまえるため声を出して本を読むことを思いつきます。でも、何を読んでもネズミたちと一緒に泣いたり、笑ったり、寝ちゃったり…。なかなか上手くいかないの、新しい作戦を考えました。果たして、成功するのでしょうか?ページをめくるたび、モーリスの服装や表情が変わり癒されます。絵本の中に映画などおなじみのキャラクターがいるので、探しながら読むのも楽しい絵本です。

1月の予約ランキング

- 一般書**
- 1 架空犯/東野圭吾
 - 2 デートピア DTOPIA/安堂ホセ
 - 3 成瀬は信じた道をいく/宮島未奈
- 児童**
- 1 かしのくにのバレリーナ/犬飼由美恵
 - 2 おせち/内田 有美
 - 3 ほねほねザウルス 29/カバヤ食品株式会社
- AV資料**
- 1 レッド・ツェッペリン 2/レッド・ツェッペリン
 - 2 5 スターダム /Mrs. GREEN APPLE
 - 3 追憶のハイウェイ61/ボブ・ディラン

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

『2月はどうして他の月より短い?』

私たちは暦(カレンダー)で今日という日が何月何日かを知ることができます。そもそも暦はどうやってできたのかわっていますか?はじまりは古代ローマ時代までさかのぼります。現在では1年の始まりは1月ですが、当時は人々の農作業がはじまる頃(現在の3月頃)からの暦がつくられました。農作業をしない冬の時期の暦はなく10か月分の暦でしたが、しばらくして冬の2か月を足した12か月を1年とした暦に変わりました。

では、1年という時間はどのように決められていたのでしょうか。はじめは満月から次の満月までの29.5日を1か月と決めましたが、1年が354日となってしまいました(29.5×12=354)。1年は365日なので11日少なくなります。これでは季節と日付に大きなずれが出てしまい農作業にも影響が出るので、月の動きをもとにした暦(354日)をやめて、太陽の動きをもとにした暦(365日)に変わりました。1年の終わりである2月は、1年が365日となるように調整をしたために他の月よりも短くなったといわれています。4年に一度の「うるう年(※)」も同じ頃につくられました。

私たちの暮らしにかかせない暦。こういった歴史を知ると一日一日の過ごし方が変わるかもしれませんね。※うるう年 正確な1年の長さは365.2422日。端数を調整するために4年に一度366日となる。

【参考図書】

- ・カエサルくんとカレンダー 福音館書店
- ・これならわかる!科学の基礎のキソ 暦(れき) 丸善出版

【2月の企画(テーマ)展示】

◎全館

3市図書館連携展示 2/1(土)~2/27(木)

◎各館

図書館	一般書	児童書
中央	スイーツにときめく	日本の絵本 人気ランキング100
豊科	「あたたかくなる」本	なんだこれ!?
三郷	甘いおやつでほっと一息	節分・ひなまつり
堀金	江戸の出版物	スイーツ
明科	冬でもぼかぼか	まにあわない!

★第172回 芥川賞・直木賞 受賞者決定★

芥川賞:安堂ホセさん『DTOPIA(デートピア)』
芥川賞:鈴木結生さん『ゲートはすべてを言った』
直木賞:伊与原新さん『藍を継ぐ海』

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-3601
明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※
2月といえば「節分」、そして「立春」。節分は冬と春を分ける節目の日、立春は暦の上で春が始まる日です。節分や立春の頃は、一年のうちでも最も寒い時季です。しかし、この時季を過ぎると、少しずつ暖かくなり確実に春が近づいてきます。皆さんも図書館に春を探しに来てみませんか。

★文字の読書が困難な方は、図書館へご相談ください★